

令和5年度第8回美浦村定例教育委員会議事録

- 開会日時 令和5年11月28日(火) 午前9時30分
- 閉会日時 令和5年11月28日(火) 午前10時25分
- 開会場所 美浦村役場 3階 大会議室
- 出席委員等
 - 教育長 山崎 満男
 - 教育長職務代理者 小松 正樹
 - 委員 田組 順和
 - 委員 浅野 千晶
 - 委員 石橋 慎也
- 出席事務局職員
 - 学校教育課長 松葉 時男
 - 指導室長 若林 功
 - 子育て支援課長 福田 浩子
 - 生涯学習課長 石川 大志
 - 美浦幼稚園長 矢崎 和子
 - 大谷保育所長 広瀬 良子
 - 木原保育所長 鈴木 玉恵
- 欠席委員 なし
- 傍聴人 0人
- 提出議案及び議決結果

案 件		審議結果
議案第1号	令和4年度美浦村教育委員会点検・評価報告書について	可決
協議第1号	美浦村立学校設置条例の一部を改正する条例に係る意見聴取について	—
協議第2号	令和5年度美浦村一般会計補正予算に係る意見聴取について	—
報告第1号	令和5年度就学援助費支給申請者及び認定者の報告について	—

○教育長

ただいまより、令和5年度第8回定例教育委員会を開会いたします。本日の会議は、全員御出席をいただいております。教育委員会会議規則第17条第2項により、議事録署名委員を指名いたします。石橋委員、お願いいたします。

【議案第1号 令和4年度美浦村教育委員会点検・評価報告書について】

【学校教育課長 説明】

【質疑】

○浅野委員

2つほど分からないところがあるので教えていただきたいと思います。8ページの中
止した事業として、保育サポーター、子育て支援事業、交流保育とあり、続いて一時預
かり保育、食育、英語教育とあるので全部中止した事業かと思ったんですが、内容を見
ると一時預かり保育、食育、英語教育は実施した事業という言葉が抜けてるのかなと思
いました。

○木原保育所長

浅野委員のご質問にお答えします。一時預かり保育からは実施した事業でございます。
抜けてしまったようで申し訳ございません。

○浅野委員

図書購入について、毎年のようにライオンズクラブから図書購入費の寄附があるかと思
います。ここにはそういうことを記載する場所じゃないのかもしれないんですけど、
地域未来塾に企業からの寄附がありと記載されているので、図書の支援に記載されない
のかと思ってお聞きしたいと思います。

○生涯学習課長

公民館図書室・学校図書室運営事業に関しては、生涯学習課で主管しているものを記
載しております。ライオンズクラブからの寄附につきましては、生涯学習課を通さず学
校教育課にて対応し、金額を振り分けるという変則的な動きをしております。それも含
めて学校図書室運営事業だと思しますので、しっかり連携をし、次年度、掲載について
検討していきたいと思っております。

○浅野委員

図書室の行為ではないのでここには入らないのかもしれないんですけども、地域未
来塾に企業からの寄附もありっていう記載がありますので、何かそういった一言を検討
していただけたらと思っております。

○学校教育課長

ただいまの回答に付け加えさせていただきます。先ほど生涯学習課長からもありまし
たように所管事業とは別のものになるので、図書室運営事業に掲載するかどうかなど生
涯学習課長と協議いたしまして、次年度は検討していきたいと思っております。先ほどの8ペ
ージで抜けていた実施事業につきましては、議会報告の際には、追加させていただいて
報告したいと思います。

○教育長

ライオンズクラブからの図書の寄附について、補足をさせていただきます。昨年度ま
では、村の予算に入れ、それから各学校に予算をつけており、学校にお金を直接わたす
という形をとっていませんでした。それを今年から変えて、各学校、幼稚園、保育所に
直接ライオンズクラブの方が来てお渡しするという形になりました。以上、付け加えさ
せていただきます。

○田組委員

令和4年度の取組みということで、今年メンバーが変わってる中で、それぞれの部署でやっていることを知っておくということ、それぞれの部署で重なっている部分があるのを知っておくということが非常に大事なのかなと思っています。別の部署が担当なんだけれども、自分の課にも関係あるというところを自分の中で理解しておくことが非常に大事になってくるかと思います。今年度ももう12月になってしまいましたが、これからやっていく中で、この点検・評価を確認し、ほかの部署ではこうやって動いてるんだなとわかったときに自分のところでは何ができるのかなと考えていくのが本当の連携かなと思うのでそうしていただけたらと思います。また、先ほど地域未来塾で企業版ふるさと納税のお話がありましたが、教えていただきたい。

○生涯学習課長

地域未来塾のところで、民間企業から寄附があったということなんですが、こちらは企業版ふるさと納税という仕組みを利用していて、太陽光を村内で行っている事業所から50万円寄附があり、地域未来塾に活用させていただいたということでございます。企業版ふるさと納税に関しましては、企画財政課で募集し、村の特色ある事業に寄附をして企業のイメージアップ等を図るものでございます。美浦村に関しては、この地域未来塾がとてもいい事業であるとの評価を受けまして、昨年度50万の寄附があったということでございます。また、今年度につきましても、50万円の寄附があったとの話を聞いております。

○小松教育長職務代理者

昨年度まで、不登校や家庭教育支援の事業に携わっていた立場から感想等をお伝えしたいと思います。25ページの不登校年間30日以上欠席者数の表ですが、小学校は全国で見ると1%から約2%弱、だんだん増加している状況なんですけれども、美浦の小学生のパーセンテージでいうと増加している状況ではないのですが、中学校は全国が5%から6%に去年上がっている中で、美浦は8%から9%で令和4年度は7%ぐらいに低くなってきている。美浦村がとても恵まれているっていうことを、研修などを受けていると他の市町村から羨ましがられるんですよね。これはなぜかっていうと、学校の中にも不登校の子どもたちを受け入れる施設があるっていう点なんです。昨年度あたりも最大で10人を超えるような子どもたちが関わっている現状ですから、だんだんルームがあるってのがすごい成果をあげていると思います。特に、令和4年度から減ってきたってのは、体制がちょうど3年前から変わったことで徐々に保護者や子どもたちの評価を得ているという成果だと思うんですよね。家から出られない子どもが、こういう施設に週1回でも通ってくることで、高校や大学あるいは大人になったときに引きこもりになってないという実態が大学の教授の調査で分かっているんで、毎日中学校の適応指導教室のだんだんルームが開設している状況、そして光の風の丘公園の相談センターも開いている状況という体制をなんとか継続していただきたいなというふうに思います。以前は1人休むと閉鎖なんてこともありましたので、子どもたちがいつ来ても開いているって安心感は不登校の減少につながってくると感じています。それからもう1点、32ページの訪問型家庭教育支援事業について、訪問数の半減というのが評価者のコメントの中にあるわけなんですけれども、こちらは以前よりも、携わっている村民の数が少し減ったことによる訪問回数の減少などもあるし、また、どちらかという子どもたちを迎え入れて子どもたちへの関わりを多くしていこうというような方向になってきているところもあると思います。最初は3か月に1回ぐらいの研修を県で受けたりして、各市町村が前のめりな取組状況だったんですけれども、今のところの方法とし

て、特定の限られた家庭とのアウトリーチ型の訪問というよりも、おしなべて一般に該当しているような家庭に訪問しているなんていう市町村もあつたりして、そういうところはうまくいってないんじゃないかなとは思んですけども。いずれにしろ、半減したというのは体制が少なくなったということと同じ人が長くやっている中で、だんだん少なくなっているのかなあという感じも受けています。

○指導室長

不登校支援に関しましては、中学校のだんだんルームの良さというのは私も身に染みておりますので、今後の取組みに関しまして、指導室としてもしっかり関わっていけるようにしていきたいと思えます。先日、生涯学習課との連携であったか家庭塾の中で、不登校に関しての美浦村の現状等をお知らせするという場面がございました。そこにお集まりいただいた方で今教育相談センターを利用されている保護者の方がいらっしまして、すごくこの施設に関しましてありがたいという言葉もいただいております。そういった地域の方の声をしっかりと受け止めながら、次年度以降継続できるようにしていきたいと思えます。

【議案第1号 原案どおり可決】

【協議第1号 美浦村立学校設置条例の一部を改正する条例に係る意見聴取について】

【学校教育課長 説明】

【質疑なし】

【協議第2号 令和5年度美浦村一般会計補正予算に係る意見聴取について】

【学校教育課長→子育て支援課長→生涯学習課長→美浦幼稚園長→大谷保育所長
→木原保育所長 説明】

【質疑】

○石橋委員

歳出のところで、美浦中学校で上下水道使用料を補正するのは理解できるのですが、木原小学校で上下水道使用料が増えているのはどういった理由なのでしょう。

○学校教育課長

木原小学校の上下水道使用料でございますが、当初予算を編成する時点でプールでの水道の使用量の積算が甘く、予算を少なく計上してしまいました。令和5年度にはプールの授業が再開しましたが、プールでの水道の使用の見込みが甘かったことにより水道使用料の不足が見込まれたため、今回、補正予算をお願いするものでございます。

○小松教育長職務代理者

学校教育課の小学校費の教育振興費の教師用指導書についてです。小学校だけで1,120万という額がかかるので、改めて教育とはお金がかかるんだなと思ったんですけども、教師用指導書というのは、私の感覚でいうと俗にいう赤刷りというものが多いんですけども、その他どんなものこれにあたるのでしょうか。

○学校教育課長

指導書いわゆる赤刷りというものについては、各小学校の担任分、それと特別支援学級の先生の分、また理科や音楽など専科の先生がおりますので、その先生の分の指導書を計上しております。その指導書のほかに、セット販売と言いましてデジタル教科書と指導書を各学年に1セット数を購入しておりますので、金額が大きくなっております。

○小松教育長職務代理者

デジタル教科書というのは今どのぐらいの割合でこの分野を占めているのでしょうか

か。セットになっているからそこまではわからないですかね。

○学校教育課長

セットといいますが、デジタル教科書単体でも販売をしているんですけれども、単体で買うよりも、セットで買ったほうが安くなりますのでセットで購入しております。デジタル教科書は全部の教科で購入するというので計上しております。おそらく大半はデジタル教科書で進めていく形になるかと思います。

【報告第1号 令和5年度就学援助費支給申請者及び認定者の報告について】

【学校教育課長 説明】

【非公開案件】

【その他1 学校周辺の交通状況について】

○小松教育長職務代理者

校舎の建築に当たって、点検・評価報告書の中の45ページの加藤先生のコメントに、内外の関係者の意見をうまく集約しながらという記載があるわけですが、委員会などに出させていただいている中ぜひとも伝えたいことがあったものですから申し上げます。小学校が建築されたときに、現状においては、雨の日の中学校周辺の交通量が多く非常に混雑していると。特に月曜日などは部活がない日でしょうから、集中することがあるかもしれません。小学校はバス通学者が多いと思うんですけれども、小学校ができたときの送迎というのが中学校と小学校の周辺に集中することが想定されるので、そのあたりを事前に交通の流れを想定して、改善に向けて取り組んでいきたい。

○学校教育課長

統合小学校準備委員会においてもこの話は出ておまして、実際に統合小学校ができてどれくらい送迎が増えるのかというはっきりとした数字は出せないんですが、小学校の送迎は新しいバスロータリーを使用し、中学校の送迎は今までどおりとしてもらうような形で検討していきたいと思っております。今後、協議を進めていく中で検討していきたいと思っております。

○田組委員

質問ではないんですが、付け加えさせていただきます。昨年度まで中学校にいたんですが、送迎は雨の日だけではなくて、朝はばらばらに登校するからまだいいんですけど、帰りはやっぱり集中します。本当はロータリーとかが使えるような形、黒澤新聞から中に入らなくてもいいような形になるのが1番理想なのかなという気はします。道も細いからなかなか難しいかとは思いますが。

○浅野委員

先生方が交通の誘導を行っている状況は改善されているのでしょうか。できればそういったところは先生ではなく、専門の交通整理が必要な状況なんじゃないかなあと想像するんですけれども、どうなのでしょう。

○指導室長

現状、まだ先生が行っている状況です。働き方改革で、先生の指導の時間は随分減ってきていますが送迎者数は減っている状況ではないので、そこに誘導が立たなかった場合、事故の心配があります。そうすると先生たちが出ていけないというわけにはいかない状況です。委員のおっしゃるとおり、私の個人の見解が入りますが、あそこに警備員が立ってやっていただくということも可能だと思うんですが、教員が立つことによっていろいろな改善がされているという点も正直あります。あそこに先生が立っていたほう

がいいということも、私も実際に立っていたので感じています。ただもちろん負担はありますので、改善していかないといけないというのが私個人の考えではございます。

○浅野委員

確かに、登下校時の指導という意味で、先生が立つ役割はもちろんあると思うんですけれども、負担減ということを今後考えていかなきゃならないのではないかと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。